

AIで外国語に困らない はじめ方ガイド

チャット・メール / 海外旅行 / 海外売買 / 訪日外国人対応を、AIで始める。

TranslateJP

AIで、言葉の壁をなくす。

このガイドの目的

外国語を勉強し直すための教材ではありません。

TranslateJPが目指しているのは、外国語ができない人でも、AIを使って外国語で困ったときに自分で対処できる状態をつくることです。

翻訳だけなら、今はさまざまなAIや翻訳サービスがあります。しかし実際の場面では、「相手は何を求めているのか」「どう返せばよいのか」「この表現で誤解されないか」まで考える必要があります。

このガイドでは、まず4つの場面でAIを使う基本を体験します。

1 外国人とのチャット・メール

2 海外旅行

3 海外との売買

4 訪日外国人対応

まずは一つ、自分の外国語問題をAIで処理してみる。それがこのガイドのゴールです。

AIで外国語に対応する基本

基本は「翻訳して終わり」にしないことです。

1. 外国語を受け取る・外国語が必要な場面が起きる
2. AIに内容や状況を整理してもらう
3. 自分が伝えたいことを日本語で考える
4. AIに相手へ伝わる外国語を作ってもらう
5. 完成した外国語の意味を日本語で再確認する
6. 問題がなければ送る・見せる・使う

大切なのは、AIに判断を丸投げすることではありません。AIに整理・翻訳・文章作成を手伝わせ、最後は自分で確認します。

AIは外国語をなくす魔法ではなく、外国語の壁を低くする道具です。

1 | チャット・メール

外国人からWhatsApp、LINE、メール、SNSなどで外国語のメッセージが届いた場面を考えます。

単に「日本語に翻訳して」ではなく、何を理解し、何を返す必要があるのかまでAIに整理させます。

試してみる

この外国語メッセージを日本語に翻訳するだけでなく、内容を分かりやすく整理してください。相手が質問していること、私が回答する必要があることも分けてください。断定できない内容は断定しないでください。

次に、自分が伝えたいことを日本語で書き、返信文を作らせます。

以下の日本語を、この相手に送る自然なメッセージにしてください。意味を勝手に追加・変更しないでください。完成した外国語と、その日本語での意味を両方表示してください。

ポイント：相手との関係や場面によって、自然な表現は変わります。重要な約束や感情的な内容は特に慎重に確認してください。

2 | 海外旅行

海外では、空港、ホテル、交通、飲食店、買い物など、短時間で外国語への対応が必要になることがあります。

例：ホテルで予約が確認できない

状況を日本語でAIに伝え、相手に見せる短い文章を作ります。

海外のホテルにいます。予約したはずですが、フロントで予約が確認できないと言われました。予約番号を確認してもらいたいです。ホテルスタッフに見せる、短く丁寧な文章を英語で作り、日本語の意味も表示してください。

旅行中は長い文章より、短く明確な文章の方が使いやすい場合があります。画面を相手に見せる、音声で読み上げるなど、自分が使いやすい方法を選びます。

旅行前に、ホテル・交通・食事・緊急時など、自分が不安な場面をあらかじめAIで練習しておくとう安心です。

3 | 海外との売買

海外から商品を買う、海外へ商品を売る。そこでは商品説明、問い合わせ、価格、発送、返品などの外国語が出てきます。

まず「何を言っているか」と「何を求められているか」を分けます。

以下は海外の取引相手から届いたメッセージです。日本語に訳し、相手の要望、確認が必要な点、こちらが回答すべき点、に分けて整理してください。金額・数量・日付・発送条件は特に正確に抜き出してください。

返信を作るときも、金額や数量など重要な数字はAI任せにせず、原文と照合します。

注意

契約、決済、税関、法律、返品条件などは、AIの回答だけで最終判断しないでください。必要に応じて各サービスの公式情報や専門家へ確認します。

4 | 訪日外国人対応

飲食店、宿泊、観光、小売、サービス業などでは、外国人客から突然外国語で質問されることがあります。

すべての外国語を覚えるのではなく、よくある質問をAIで処理できるようにしておきます。

外国人のお客様から以下の質問を受けました。質問の意味を日本語で整理し、店舗スタッフが確認すべきことを示したうえで、短く丁寧な回答案を相手の言語で作ってください。日本語訳も付けてください。

よくある問い合わせが分かっているなら、事前に回答の型を作っておくこともできます。

外国人対応は「その場で毎回考える」から「AIを使って一定の手順で対応する」へ変えられます。

共通で使える3つの基本プロンプト

まずはこの3つから始めてください。必要以上に複雑な指示を覚える必要はありません。

1 | 受け取った内容を理解する

この外国語を日本語に翻訳するだけでなく、内容を分かりやすく整理してください。相手が質問していること、私が回答する必要があることも分けてください。

2 | 返信を作る

私が伝えたい以下の内容を、相手に自然に伝わる文章にしてください。意味を勝手に追加・変更せず、完成した外国語と日本語での意味を両方表示してください。

3 | 送信前に確認する

この文章を送る前に、不自然な表現、誤解される可能性、失礼に受け取られる可能性がないか確認してください。問題があれば理由と修正版を示してください。

AIを使うときの5つの確認

1 | 意味

自分が本当に伝えたい内容になっているか。

2 | 数字

金額、日付、数量、住所、予約番号などに間違いがないか。

3 | 相手

友人、取引先、店員、お客様など、相手との関係に合った表現か。

4 | 重要度

契約、お金、医療、法律、重要な約束など、AIだけで判断してはいけない内容ではないか。

5 | 最終確認

外国語の完成文を日本語に戻し、意味が変わっていないか確認したか。

「AIが作ったから正しい」ではなく、「AIを使って自分が確認しやすくする」と考えてください。

あなたの場合は？

次の4つから、今の自分に一番近いものを一つ選んでください。

- ☐ 外国人とチャット・メールをしている
- ☐ 海外旅行へ行く・行きたい
- ☐ 海外から商品を買う・海外へ商品売りしたい
- ☐ 訪日外国人のお客様に対応したい

次に、実際に困っていることを一つだけ書いてみてください。

実際に1回やってみる

前のページに書いた「困っていること」を使って、AIに一度相談してみましょう。

STEP 1

状況を日本語でそのままAIに説明する。

STEP 2

外国語の文章がある場合は貼り付け、意味と対応すべきことを整理してもらおう。

STEP 3

自分がどうしたいかを日本語で伝え、外国語の文章を作ってもらおう。

STEP 4

完成した文章の日本語での意味を確認する。

STEP 5

問題がなければ実際に使う。

一度でも自分でできれば、外国語に対する見え方はかなり変わります。

うまくいかなかったとき

AIを使っても、最初から思い通りになるとは限りません。そんなときは、次の順番で確認します。

状況を十分に説明したか

「翻訳して」だけでなく、誰と・何のために・どんな場面で使うのかを伝えます。

文章を長くしすぎているか

複雑な内容は、一度に全部処理せず、理解・返信作成・確認に分けます。

AIに判断させすぎているか

自分で決めるべきことまでAIに決めさせないようにします。

それでも分からない場合

一般的な使い方ではなく、「自分の場合はどうすればいいか」を整理する必要があるかもしれません。

無料ガイドでできること・できないこと

このガイドは、AIを使った外国語対応の基本を知り、自分で一度試すためのものです。

このガイドでできること

- ・ AI外国語対応の基本を知る
- ・ 4つの利用場面を知る
- ・ 基本プロンプトを使う
- ・ 自分で一度試してみる

このガイドでは行わないこと

- ・ あなたの状況の個別診断
- ・ あなた専用プロンプトの作成
- ・ あなた専用の利用手順の設計
- ・ 個別の質問への回答や継続サポート

無料 = まず自分でやってみる。

自分の場合を整理したい方へ

自分で試してみて、「自分の場合はどう使えばいいのか分からない」「もっと自分に合った方法にしたい」と感じた方には、TranslateJPの個別サービスがあります。

外国語AI 個別整理

9,800円（税込）

あなたが外国語で困っていることを整理し、AIをどう使えば自分で対応できるかを、あなたの場合に合わせて個別に整理します。

対象となる4分野

チャット・メール / 海外旅行 / 海外売買 / 訪日外国人対応

AIで、言葉の壁をなくす。

TranslateJP